



第3回 伊豆の国ジオツアーを開催します！

☎ 観光課
055(948)1480

◆ツアー行程(予定)

- 「ジオを活かす、味わう！」をテーマに、市内のジオポイントなどを、伊豆半島ジオパーク推進協議会認定ジオガイドとともにバスでめぐります。
- とき／2月24日(日) 8時30分～15時
- ※小雨決行、荒天中止。
- 集合場所／伊豆長岡庁舎 正面玄関前
対象／小学生以上80人(先着順)
- 参加料／無料(かつらぎ山ロープウェイ乗車代1,000円は別途)
- 持ち物／歩きやすい靴、飲み物、雨具
※動きやすい服装でご参加ください。
- 申し込み方法／2月15日(金)までに電話または観光課窓口で申し込み
- 参加特典／
- ①イベント限定特製ジオ弁当(税込1,000円・当日支払い)が購入可
 - ※希望者は申込時にお知らせください。
 - ②道の駅伊豆のへそ「伊豆いちごファクトリー」ソフトクリーム100円割引券
- ▲大仁橋・水晶山
- 15時 到着(ツアー終了)
- 14時30分 道の駅伊豆のへそ「伊豆いちごファクトリー」
- 13時30分 ジオポイント④「水晶山・大仁橋」
- 13時 ジオポイント③「白鳥山」
- 10時 ジオポイント②「狩野川放水路」
- 8時30分 出発(ツアー開始)
- ジオポイント①「かつらぎ山」
- 山頂から大地の成り立ちを見渡そう
- 放水路のトンネルに入ってみよう
- 伊豆半島ジオパークミュージアム「ジオリア」(伊豆市修善寺)
- ジオパークを学ぼう
- 狩野川記念公園(昼食)

第26回 おおひと梅まつり

とき／2月17日(日)
9:30～15:30(雨天決行)

ところ／大仁梅林および大仁神社境内

内容／こども創作能・雅楽と神楽・大正琴などの演芸、野点、屋台、梅林内にて甘酒無料サービス

○梅お散歩ラリー

受付／10:00～10:30

集合場所／ひまわり保育園大仁分園

参加資格／健康で、ひとりで歩ける人

参加費／1人500円
(おおひと笑店会商品券500円付)

定員／100人(先着順)

申し込み方法／電話またはFAXで申し込みください。FAXの場合は、氏名、年齢、住所、電話番号を明記の上お送りください。

☎ 伊豆の国市観光協会
〒410-2201 伊豆の国市古奈 255
☎ 055-948-0304 FAX 055-948-5151



○梅まつり写生コンクール

テーマ／大仁梅林

参加資格／小学生以下(参加費無料)

※用具(画板・クレヨンなど)は貸し出します。

※金賞作品は来年度のポスターに使用されます。

○梅まつり写真コンテスト

テーマ／大仁梅林

参加資格／どなたでも(参加費無料)

参加方法／氏名・連絡先を記入し、写真は四つ切サイズに印刷したものを2月15日(金)までに観光協会へ郵送もしくは持参してください。

※金賞作品は来年度のチラシに使用されます。

※昨年の写真でも構いません。



ボーズ

皆さん、サエンバエノ。日差しも日に日に暖かくなってきたような気がしますが、皆さんはいかがお過ごしですか。年明けからもう一カ月がたちました。家族で過ごした初めての日本のお正月。共通点や違いを改めて実感し、新年を迎えました。

そして今月、再びお正月を迎えることになります。モンゴルでは旧暦でお正月を祝うので元旦(今年は2月5日)には、もう一度初詣に行こうと思います。旧正月のことをツァーガンサル(白い月)と言い、夏のナーダム祭とともに一年で最も大切な行事の一つで、この期間は独特の雰囲気包まれます。

国際交流員がモンゴルを紹介！

連載

ジャルガルの ほのぼの日記

第11回
ツァーガンサル
〜モンゴルの正月〜



私は、旧正月に向けて大掃除をし、伝統料理のボーズ(蒸し餃子)を作りました。モンゴルでは、毎年旧正月が近づくと兄弟全員が実家に集まり、幼いころの笑話をしながらボーズを1,800個も作ります。外は氷点下の世界なので、ボーズを2、3時間置くだけで自然冷凍してしまします。両親は親族の中で一番高齢なので、孫や子どもから友人、近所の人たちまで、あいさつに訪れます。多くの人がツァーガンサル(装)に身を包む姿もツァーガンサルのムードをぐっと引き立てます。

ツァーガンサルが終わると、モンゴルには春が訪れ、気候もだんだん温かくなって来ます。厳しい冬を乗り越えて春を迎える事を喜び、1年間の幸せを祈ります。

☎ 市長公室
055(948)1431

第6回

ジオガイドが市内ジオサイトを紹介します！

市内南江間にある江間公園の一角には、国の天然記念物に指定されている魚雷が設置されています。この魚雷は、昭和5年(1930)、死傷者825人、家屋半壊以上7,501件の大被害をもたらした「北伊豆地震」を偶然記録した天然の地震計として知られています。

魚雷はもともと旧江間小学校に展示されていたものですが、地震によって魚雷が動き、台

座が魚雷の表面を鋭く削ったことで、全長725mmのキズ(擦痕)が残りました。擦痕は、地震発生当時、複雑に揺れた様子や揺れの激しさを物語っています。

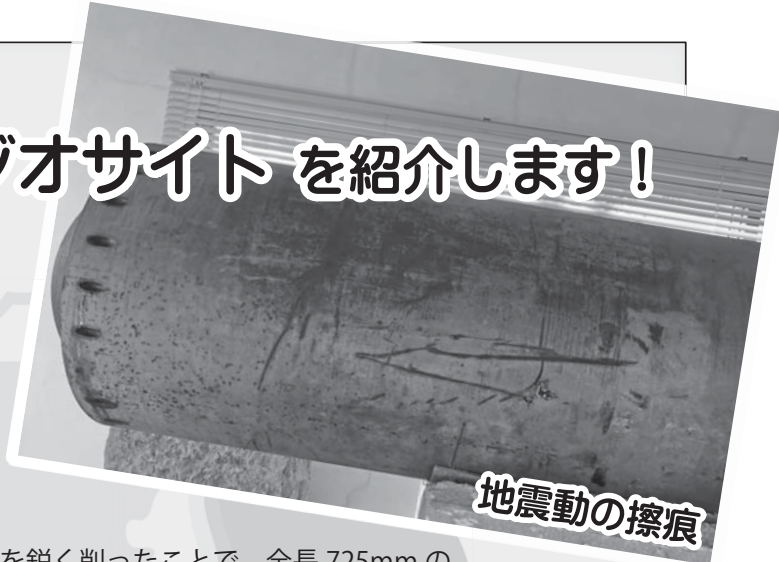
魚雷は、北伊豆地震の揺れを刻んだ貴重な資料「地震動の擦痕」として、昭和9年(1934)、天然記念物の指定を受けて、後世に残されることになりました。その後、昭和60年(1985)の保存事業によって現在の場所に移されました。

地震動の擦痕は、北伊豆地震の痕跡を目で見て知ることができるジオポイントです。



伊豆半島ジオパーク推進協議会 認定ジオガイド
みやした かのこ 氏

☎ 観光課 055-948-1480



地震動の擦痕